

令和5年度管内概要

もり 国民の森林へようこそ



【暑寒別岳山頂からの景観（群別岳方面）】



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局

留萌南部森林管理署

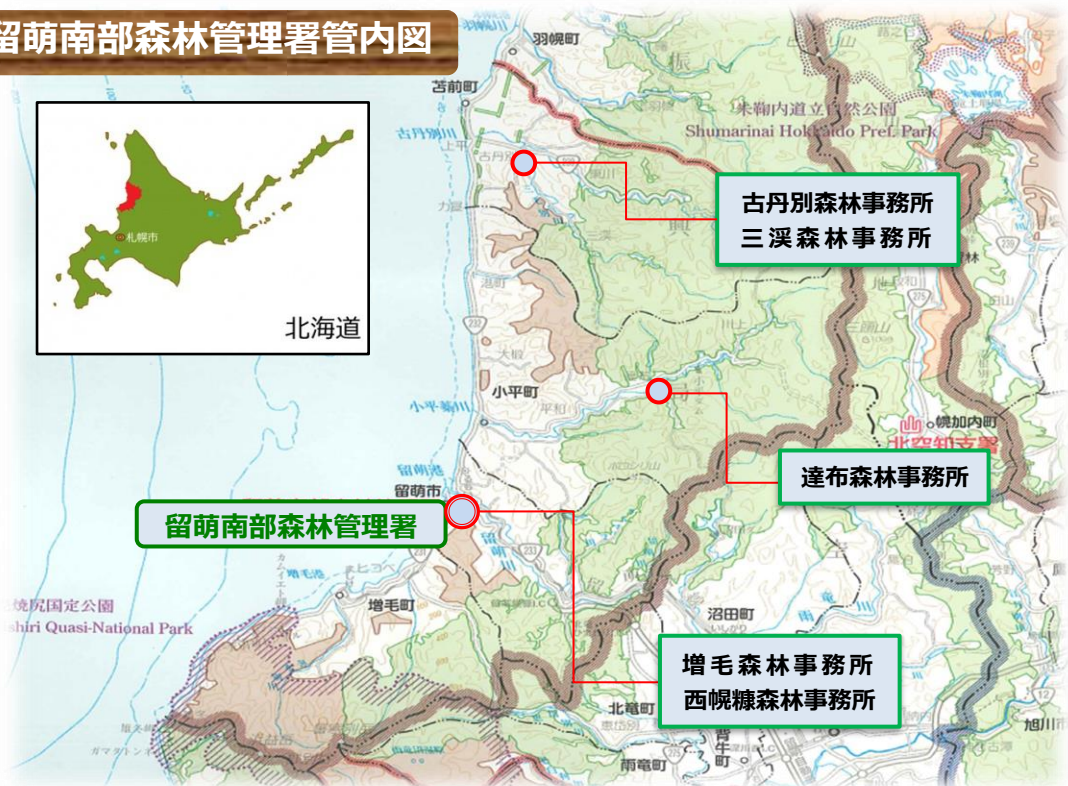
公益を重視した管理経営の一層の推進

留萌南部森林管理署は、留萌振興局管内南部の1市3町（留萌市、増毛町、小平町、苫前町）を管轄しています。区域面積（17万5千ha）の87%（15万2千ha）が森林でそのうち国有林は9万2千haと区域面積の52%、森林面積の61%を占めています。

河川上流部を占める国有林野は、下流域の市町村の水源になっているとともに、農地や沿岸環境の保全に配慮する必要があり、水源かん養機能及び山地災害防止機能の発揮など地域の暮らしを支えています。

また、最南部の暑寒別岳を中心とする地域は、豊かな高山植物や優れた山岳景観を有しているため、暑寒別天売焼尻国定公園に指定されており、自然環境や豊かな森林生態系を保っています。

留萌南部森林管理署管内図

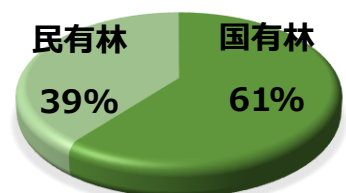


森林の現況（市町村別土地面積及び森林面積）

単位：ha、%

市町村	区域面積 (A)	森林面積			森林比率 B/A
		国有林	民有林	総数(B)	
増毛町	36,971	11,255	22,006	33,261	90
留萌市	29,784	16,199	8,345	24,544	82
小平町	62,722	33,811	22,034	55,845	89
苫前町	45,460	30,861	7,505	38,366	84
総数	174,937	92,126	59,890	152,016	87

森林面積の割合



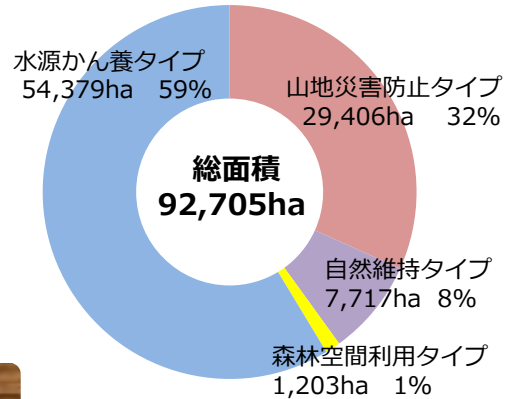
注1) 区域面積は「令和4年北海道統計書」、森林面積は「令和3年度北海道林業統計」による。

注2) 国有林には森林管理局所管の国有林及びその他の国有林を含む。

機能類型にふさわしい 森林の取扱を進めています

森林に対する国民の要請は、山地災害の防止や水源かん養に加え、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等、多様化しています。

令和3年度に策定した留萌森林計画区の「地域管理経営計画」では、こうした国民の要請と期待を受け、留萌南部森林管理署の国有林野を重点的に発揮させるべき機能により以下の4つの機能類型に区分し、持続可能な森林経営に取り組んでいくこととしています。



機能類型区分

森林施業の考え方

水源かん養タイプ

良質な水の安定供給など水源のかん養機能の発揮を重視すべき森林

水源かん養機能の発揮のための森林整備を図りつつ、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮する。



小平ダム (小平町)

山地災害防止タイプ

山地災害の防止や土壌保全機能の発揮を重視すべき森林

下層植生の発達を促進するために適度な陽光が入るよう密度管理を行うとともに、必要に応じて土砂の流出、崩壊を防止する治山施設を整備する。



霧立地区災害復旧 (苫前町)

自然維持タイプ

原始的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など生物多様性保全機能の発揮を重視すべき森林

原則として自然の推移に委ねることとし、野生動植物の生育・生息環境の保全等に配慮した管理経営を行う。



暑寒別岳 (増毛町)

森林空間利用タイプ

保健、レクリエーション、文化機能等、森林とのふれあいの場としての機能を重視すべき森林

保健・文化・教育的利用の形態に応じ、景観の向上やレクリエーションを考慮した保育や間伐等の適切な整備を行う。



ふれあいの森 (留萌市)

公益的機能の維持増進のために さまざまな取組を進めています

保安林の整備

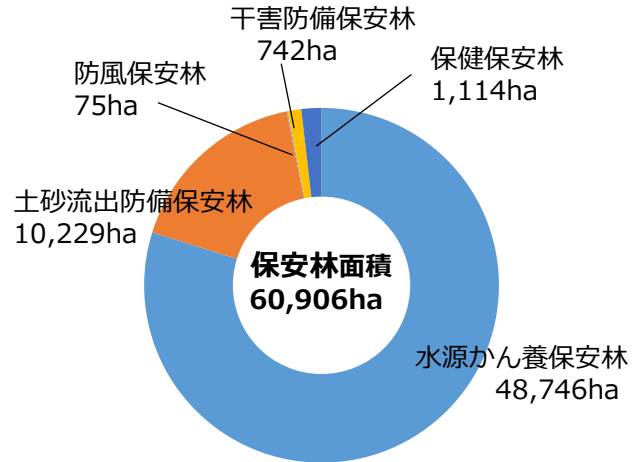
土砂の流出、崩壊の防備や水源のかん養機能が特に求められる森林は、「保安林」に指定し積極的な森林整備に努めています。

管内の国有林では、全体の66%の約6万1千haの森林が保安林に指定されています。

これらの保安林には、災害を防止するための治山施設を設置したり、崩壊地の植生を回復したりする「治山事業」を実施しています。

また、施設の整備など森林土木工事では環境にやさしい木材を使用した工法を積極的に取り入れてます。

保安林種別面 (ha)



護岸工・山腹工 (小平町)



溪間工 (苫前町)

保護林の設定

原生的な天然林を保存することにより自然環境、動植物の保護、遺伝資源の保存を目的として保護林に設定し、適切な管理に努めています。

種 類	箇所数	面積(ha)
希少個体群保護林	4	24.02
西幌糠ミズナラ遺伝資源	1	8.69
増毛グイマツ遺伝資源	1	4.28
達布ヤチダモ遺伝資源	1	5.00
古丹別トドマツ遺伝資源	1	6.05



増毛グイマツ遺伝資源希少個体群保護林 (増毛町)

効率的な森林整備と木材の安定供給

国土の保全や地球温暖化の防止等、公益的機能の高度発揮を図るため、森林整備事業や保安林整備事業等の推進による積極的な森林整備を実施しております。

特に間伐については、選木の省力化や効率で安全に実施できる間伐方法として「列状間伐」を採用し、ハーベスタやフォワーダ等の高性能林業機械による間伐を推進しています。

また、間伐材等の安定供給や大径材の販路拡大に取り組み、需要動向を踏まえたシステム販売の推進に努めています。



高性能林業機械による間伐

路網整備の推進

造林、保育、伐採等の森林施業を効率的に実施し、木材等の搬出を効率的に行うためには、幹線、支線、分線の役割を踏まえた林道(林業専用道)等の路網の整備が大変重要です。

そのため「林業専用道」は、地域の地形、地質及び気象条件等を踏まえ、安心・安全な通行が可能で、被災しにくい線形・施設機能を確認しつつ、土構造を基本とするなどコスト面も考慮し作設しています。



林業専用道（留萌市）

木材利用の推進

木質バイオマス利用推進を図るため、庁舎1階のエントランスホールにペレットストーブを設置し、普及啓発に取り組んでいます。

また、林産関係をはじめ、各種公共工事に間伐材等の木材を積極的に利用することを推進しています。

当署で施工している治山工事でも積極的に間伐材を使用し、木材利用をすすめています。



トドマツ間伐材を使用した治山ダム



ペレットストーブ

流域を単位に民有林行政と 連携した取組を進めています

留萌流域森林・林業活性化協議会 (留萌地域における森林資源の循環利用推進分会)

民有林と国有林が連携して流域の森林整備や林業の活性化等を進めるために、森林管理署のほか、留萌振興局及び管内の各市町村をはじめ、多くの関係者で「留萌流域森林・林業活性化協議会」を設置しています。この協議会では分科会を設置し、留萌地域における森林資源の循環利用の推進等に取り組んでいます。



留萌地域における森林資源の
循環利用推進分科会

留萌地域林政連絡会議

留萌振興局と留萌北部森林管理署と共に「留萌地域林政連絡会議」を設置し、地域の森林・林業・林産業における様々な課題の解決に向けて、地域の資源、市町村行政、森林組合、林業事業者などの現状等に関して情報共有を実施したり、連携した取り組みを進めています。



留萌地域林政連絡会議

留萌流域国有林野等所在市町村長 有志協議会

留萌北部森林管理署・留萌南部森林管理署の2署で留萌流域国有林野等所在市町村長有志協議会を開催し、留萌管内の国有林の取組課題の説明や各市町村から国有林に対する意見要望を集約し、各市町村や民有林における森林整備の促進や留萌流域の森林・林業活性化に向けた取り組みを進めています。



留萌流域国有林野等所在市町村長
有志協議会

森林整備における低コスト化・省力化への取組

伐採・造林の一貫作業システムの推進

伐採時に使用した林業用機械を地拵・植付作業に連続して活用することで造林経費の縮減が可能となります。また、コンテナ苗を用いることで植付作業の省力化も可能となり、その経費削減効果が期待できます。



伐採で使用した林業用機械を地拵でも使用

トドマツ人工林の下刈 2 回刈を 1 回刈に省力化

下刈箇所において、2 回刈を 1 回刈に省略し、生長量や植生高などの比較を行いました。得られたデータにより 2 回刈を 1 回刈に省略可能と判断されたことから、今後も事例・実績を重ね検証していきます。



各プロットにおける生長量調査

ドローンや全天球カメラの活用

ドローン撮影は上空から俯瞰して森林の現況を把握でき、効果的・効率的に林況を把握できます。

災害被災状況調査、地況林況調査、境界巡視等の各種業務における撮影データの 3D 化等による活用推進に取り組むとともに、活用範囲の拡大、ドローン操作技術の向上を今後も図ります。

地況林況調査の手法としては、従来から標準地調査等を行ってきましましたが、より効率的な調査手法として全方位 360 度撮影できる「全天球カメラ」を活用し、調査の省力化に取り組んでいます。



全天球カメラ



ドローン



全天球カメラによる天頂写真

国民の森林にふさわしい 開かれた国有林を目指します

協定締結による国民参加の森林づくり

ふれあいの森

ボランティア団体等と森林管理署と協定を結んで、森林作業体験や様々なアイデアを生かした森林づくり活動を楽しむ場として「チバベリ・ふれあいの森」というフィールドを設定しています。留萌ライオンズクラブと留萌市立潮静小学校児童のカミネッコンを使ったミズナラ植樹の「どんぐり作戦」を支援しています。

また、新星マリン漁業協同組合女性部と自然とのふれあい、栄養豊富な海づくりに必要な川上の森林育成を目的に行っている「お魚を呼ぶ森林づくり」活動を支援しています。



ミズナラの苗木を植える潮静小2・3年生（どんぐり作戦）



カミネッコンを作成する新星マリン漁業協同組合女性部（お魚を呼ぶ森林づくり）

遊々の森

苫前町教育委員会と協定を結んで「森の楽校 サンケベツ遊々の森」というフィールドを設定して森林教室を実施しています。子どもたちは、森林散策で見つけた木の実や葉などを使って万華鏡を作るなど、森の恵みを体感する活動を進めています。



思い思いの万華鏡を作成している
苫前小1・2年生



散策しながら森の話を聞いている
古丹別小1年生

インターンシップの実施

大学生などが実際に森林管理署の業務に接することにより、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的としてインターンシップを実施しています。

昨年度は、森林管理署及び森林事務所における業務全般と現場業務実習を中心に実施してきました。



ドローン操作の説明



土場において丸太の直径の測定

暑寒別岳（日本二百名山）

管内最高峰で日本二百名山に選定されている暑寒別岳（標高1,492m）は、日本海を臨む雄大な景観と可憐な高山植物が魅力で暑寒別天売焼尻国定公園に指定されており、自然環境の保全が期待されています。

増毛町側からの2つの登山ルート（暑寒ルート、箸別ルート）のうち、国有林にある箸別ルートは、登山口に避難小屋も設置され、多くの登山者が訪れます。



暑寒別岳



暑寒別岳頂上

スマートフォンのカメラで下の二次元バーコードを読み込むと増毛町役場ホームページの暑寒別岳情報のページにアクセスできます。



主な事業量（令和5年度予定）

区 分		単位	令和5年度	備 考
販売量	立木販売	m3	8,200	
	製品販売	m3	14,000	
造 林	更 新	ha	12.57	
	保 育	ha	361.66	治山費含む
林 道	新 設	m	1,190	
治山事業		百万円	56.7	山腹工

注1：造林の更新は、新植、天I地拵・植込の合計である。

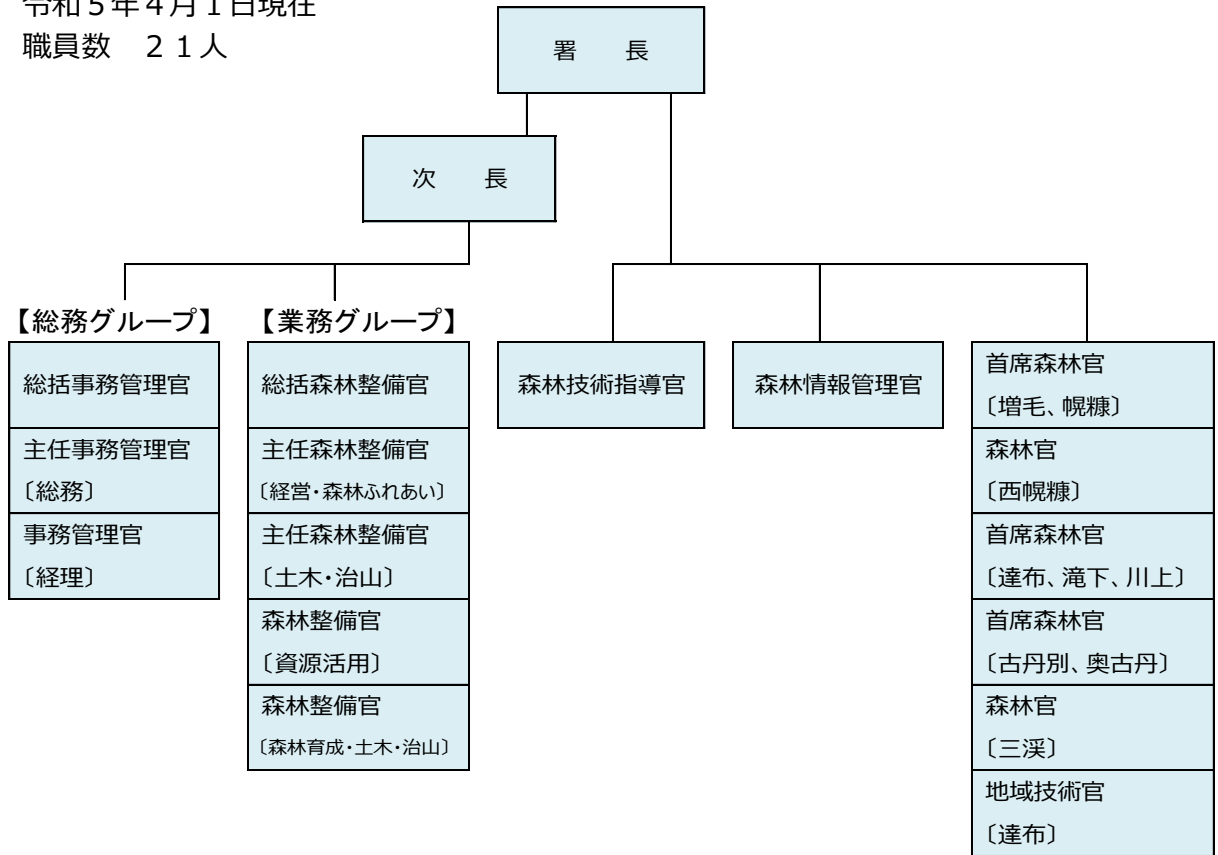
注2：造林の保育は、下刈、つる切りの合計である。

治 革

明治24年 4月	御料局札幌支庁増毛出張所開設
大正 3年 9月	庁舎を留萌に移転し留萌出張所と改称
昭和22年 4月	林政統一により旭川営林局留萌営林署と改称
昭和27年11月	新庁舎が完成し、錦町4丁目に移転
昭和54年 1月	北海道営林局旭川営林支局留萌営林署となる
平成11年 3月	北海道森林管理局旭川分局留萌南部森林管理署となる 達布営林署・古丹別営林署を統合し内部組織の事務所になる
平成13年 8月	達布事務所・古丹別事務所を廃止
平成16年 4月	北海道森林管理局留萌南部森林管理署となる
平成22年 3月	新庁舎が完成し、沖見町2丁目71番地1に移転
平成25年 4月	一般会計化に伴う内部組織の再編によりグループ制となる

組 織

令和5年4月1日現在
職員数 21人



森林事務所の所在地

増毛森林事務所 〔増毛、幌糠担当区〕 西幌糠森林事務所 〔西幌糠担当区〕	〒077-0037 留萌市沖見町2丁目7番地1 TEL：0164-42-3030
達布森林事務所 〔達布、滝下、川上担当区〕	〒077-0463 留萌郡小平町字達布 TEL：0164-58-1065
古丹別森林事務所 〔古丹別、奥古丹担当区〕 三溪森林事務所 〔三溪担当区〕	〒078-3621 苫前郡苫前町字古丹別1011番地 TEL：0164-65-4349

管内4市町ホームページ（観光情報）のアクセス先

苫前町



小平町



留萌市



増毛町



留萌南部森林管理署の所在地・アクセス



庁舎バリアフリー情報

- ・車いすでもお越しいただけます
- ・多目的トイレを設置しています

市内バスを利用する場合

- 旧留萌駅前から
- ①沿岸バス「留萌市内近郊線 Aコース」乗車
 - ②「沖見町2丁目」下車
 - ③バス停から徒歩約100m



〒077-0037 北海道留萌市沖見町2丁目7番地1
 NTT 0164-42-2515 IP 050-3160-5730